

根室市議会

5月緊急議会開かれる

根室市議会は16日、緊急議会を開き、条例案1件、補正予算1件を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

根室市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法施行令等の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、保険税軽減措置の所得判定基準等の改正を行うため、提出されたものです。

根室市の国民健康保険(国保)は、低所得者の負担軽減をはかるため、

所得に応じて保険税の7割軽減、5割軽減、2割軽減の措置が取られています。このうち、5割及び2割軽減対象世帯の軽減判定所得基準額を引き上げ、保険税軽減措置の拡充をはかります。

この結果、新たに2割軽減の対象となるのが14世帯23人、2割軽減から5割軽減となるのが10世帯27人、合計24世帯50人の保険税負担の軽減がはかられます。

市の国保会計への影響

は、保険税収入が減額となりますが、保険基盤安定繰入金として国及び北海道より財源措置されます。

ただでさえ高い国保税は、国の責任で全体の引き下げをはかるべきですが、

今回の改正で軽減世帯が拡充されることは一歩前進と言えます。

令和5年度根室市一般会計補正予算

今回の補正予算は、前々の市議団ニュース(第2057号)で紹介した「根室市エネルギー・食料品等価格高騰重点支援展開計画」のうち、低所得世帯に

対する1世帯あたり3万円の特別給付と、低所得の子育て世帯に対する子ども1人当たり5万円の特別給付への予算措置が主な内容です。

低所得世帯への特別給付は、住民税非課税世帯と

家計急変世帯で、市の試算によると、4236世帯が対象となる見込みです。また、子育て世帯への特別給付は374世帯、625名の児童が対象となる見込みです。

財源は、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」8千463万、「低所得の子育て世帯特別給付費交付金」3千216万、および市の一般財源「財政調整基金繰入金」5千86万円が充当されます。

前回の緊急議会で水道基本料の6カ月分免除が、そして今回の議会で、

低所得世帯と子育て世帯への特別給付が予算措置されました。「根室市エネルギー・食料品等価格高騰重点支援展開計画」に

ある施策のうち、今後はプレミアム付き商品券の発行、住民税非課税世帯

の高齢者世帯等および高齢者施設入居者に対する福祉灯油券の交付が予定されています。

物価高騰が続くもとで、こうした施策の継続が求められます。

紙智子「国会かけある記」 2023年5月15日

いのちと暮らしを守る宝の議席



参議院議員 紙智子

久しぶりに仙台に行き、宮城野区の党と後援会のつどいに参加しました。

仙台市議選は7月、宮城県議選は10月です。東日本大震災で選挙の日程を遅らせたからです。高見のり子市議は4期16年、住民とともに「人と人をつなぐ安全・安心のまちづくり」に取り組みました。震災の時には自転車で、被災者支援に走り回りました。乗り合いタクシーの実現や子ども食堂の取り組み、復興公営住宅の家賃減免を5年から10年に継続させるなど、住民の願いを実現してきました。

大内真理県議は、震災当時1歳6カ月だった息子さんを胸に抱き「子どもたちに負の遺産は残せない」との思いで、ホームレスの方々への炊き出し支援やフラワーデモ、脱原発の金曜デモなどに参加。出会った皆さんの「困った」を受け止め、苦難解決に取り組んできました。今度は3期目の挑戦です。

つどい後の懇談では、震災から12年、地域の皆さんとともに乗り越えてきた二人への信頼、絆の強さを感じました。しかし、油断はできません。

大軍拡に復興予算を流用し、原発帰りの悪法などを矢継ぎ早に推し進める岸田政権への怒り、戦争する国づくりは絶対に許さない思いとともに、住民のいのちと暮らしを守る日本共産党の宝の議席、その値打ちを語って、必ず勝利しようと誓い合う場となりました。

参議院は重要法案の真ただ中、世論と運動を力に私も国会論戦にがんばります。